

C09 熊野第一小学校・和太鼓「筆が舞う」保存会

代表者：栗原 築波

住所：安芸郡熊野町中溝4-4-1 熊野町立熊野第一小学校内

TEL：082-854-0111

① 担当社会福祉協議会

熊野町社会福祉協議会

住所：安芸郡熊野町中溝1-11-1 中央地域健康センター内

TEL：082-855-2855

② 地域課題の解決のための事業の名称

和太鼓「筆が舞う」の継承と充実

③ 事業の総予算額(助成金申請額)

400,000円(400,000円)

④ 事業の目的

和太鼓「筆が舞う」の継承と充実のため、和太鼓練習のためのスポットライト、締太鼓等を購入する。

⑤ 事業の内容

熊野町は古くから筆産業が盛んであり、伝承されている「筆おどり」や「筆まつり唄」などは、児童にもなじみが深く、地域の伝統文化として定着している。熊野第一小学校では、このような地域の特性を生かした取組として「低学年書道科」を導入し、1年生から毛筆に親しみながら、学習に臨む基本姿勢や心構えの指導を行っている。さらに、運動会では、地域の方から学んだ「筆おどり」を披露している。

これらの「筆」を中心とした地域学習のまとめとして、6年生では和太鼓組曲「筆が舞う」に取り組んでいる。この「筆が舞う」は、平成19年に、社会教育委員で熊野吹奏楽団の指揮者である長野広幸氏に作調していただいた楽曲で、毎年、6年生が学習発表会で、下級生や地域・保護者の皆様に披露し好評を得ている。特に、下級生は憧憬の情をもって鑑賞しており、熊野第一小学校の伝統の一つとなっている。現在、6年生86名が、宮太鼓、締太鼓等の練習に励んでいるが、児童数は年々増える傾向にある。

また、児童の練習および発表において、体育館のような大きな施設では気温が低くなり、長時間の練習では、子どもたちは体調を整えることが難しく、特に昨年度のように寒さが厳しくなると、児童の健康を保つ暖房器具の必要性を強く感じた。それに、発表会では、体育館にたくさんのお客が熊野の厳しい寒さに耐えながら鑑賞している。

このような状況から、児童のみならず観客として参加する保護者や地域の方々が安全に演技鑑賞するためにも、当募金を活用し、暖房器具の購入も考えなければならない。

⑥ 備考